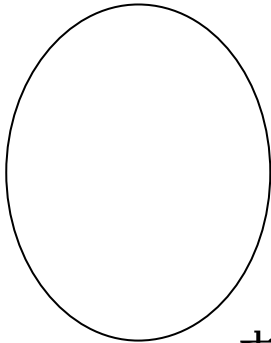


あどがわ町商工会 だより

第28号
発行
安曇川町商工会
安曇川町田中89番地
TEL 32-1580



十六年度事業 三つの重点事業で

安曇川町商工会
会長 西沢博文

会員の皆様には日々ご健勝で活躍のごとくお慶び申し上げます。

平素は、商工会の各事業につきまして格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、最近の景気動向は景気回復が確実な足取りで前進していると発表されています。確かに、全国的に見ればそのような指数がであるのかも知れませんが、中国、アメリカの好況に従えられた日本の輸出拡大や最近のデジタル家電の販売好調、また企業のリストラによる経費削減効果による収益の回復等自動車産業、製造業の決算の絶対調子はまったく同じ国の経済とは思えません。

しかし未だに高島バイパスすら開通できない湖西地域において何を基幹産業とし、何を次世代の産業として育てていくのか、本当に大事なこの時に将来より今の事はかり

とらわれています。今こそはやく・・・といっています。

今年度は高島郡六町村が平成十七年一月一日に合併し高島市が誕生する年であります。商工会では今年度も引き続き、高島郡内六商工会で広域連携事業をしつかりと実施し、商工会の合併問題も六町村で合併問題研究会を設置して十分に研究してまいりたいと考えています。

今年度の主要事業として三つの事業を計画しています。

- 一点目は地域振興活性化事業です。皆さんよくご存知のアドベリーを使った地域再生事業です。
- 二点目はニュージラントと安曇川町とのローカル ツウ ロール産業経済交流事業です。ジエトロ(日本貿易振興機構)の指定を受け、ボイセンベリー(アドベリー)を核として交流を行います。
- 三点目は安曇川町活性化基本計画策定のための調査、研究事業です。昨年度実施致しました中心市街地活性化基本計画策定事業の次の

事業として実施します。変革の時代を迎え、経営改善普及事業や各部署事業、青年部、女性部事業を中心に地域振興事業を積極的に展開してまいりたいと考えています。皆様の支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今、企業は

安曇川町商工会

平成十六年度 通常総代会 開催

去る五月二十日(木)午後三時より、寿光苑において、総代七十四名(うち委任状出席四十四名)と役員、福井町長をはじめ多数の来賓をお迎えし、平成十六年度通常総代会を開催いたしました。

総代会は、定刻の三時になり西沢会長あいさつの後、西川忠史議長のもと第一号議案から第八号議案まですべて原案どおり可決承認されました。そのなかで、青年部長が交代されましたので、福井孝明部長が商工会理事として承認されました。

ほんの少しの甘え、ウソも許されない時代になりました。本当に危機感のない会社、経営者は即刻退場となります。私たちが素晴らしい会社と想っていたところでさえ、解散・倒産に追い込まれます。私たち中小零細企業も真面目に堂々と経営していきたいものです。

議事

第一号議案 平成十五年度事業報告書、収支決算書、貸借対照表、財産目録及び労働保険事務組合特別会計収支状況報告書の承認について

第二号議案 平成十五年度商業振興資金特別会計収支決算書、貸借対照表及び財産目録の承認について
第三号議案 平成十六年度事業計画書並びに収支予算書の決定について
第四号議案 平成十六年度運営資

金借入金の最高限度額の決定について

第五号議案 平成十六年度商業振興資金特別会計事業計画書並びに収支予算書の決定について
第六号議案 定款の一部改正に

第七号議案 運営規約の一部改正について

第八号議案 役員補欠選任について

本年度重点事業

地域振興活性化事業

「新米実を使った産業用生プラン」

平成十八年年度に(仮称)「道の駅あどがわ」の開設を予定しており、その一環として、生産から加工・販売までの独自の特産品づくりの育成をめざし、ブルーベリーの六倍の高酸化能を有し、健康によりボイセンベリーという新しいタイプの食品原料に出会い、十五年度にアドベリー生産協議会を設立し、試験栽培を開始しました。(安曇川町の「アド」とボイセンベリーの「ベリー」からアドベリー」と名づけました。)

日本で始めてボイセンベリーを栽培 加工・販売をすることに

無菌室で苗の栽培

より、「道の駅あどがわ」の目玉の特産品になるとともに、農業者が栽培・観光農園を行い、地域内小規模事業者がボイセンベリーの果実、葉っぱ等を利用した特産品を販売する予定です。また、行政(近畿経済産業局、滋賀県及び安曇川町)、大学(滋賀県立大学)がこれを支援することにより産

官学のモデルにもなると考えます。

栽培農家、加工・販売業者を地域内で増やし、日本でボイセンベリーの一大産地になるとともに、ボイセンベリーの栽培を通して、主産国であるニュージーランドとの国際交流にも大きな効果があるものと考えます。

「Local to Local」

産業経済交流事業

ジェトロでは平成八年より地域経済の活性化を目的に、内外ネットワークを活用し「Local to Local」産業交流事業を実施しています。平成十六年度安曇川町ではアドベリー(学術名ボイセンベリー)によるニュージーランドとの産業交流として本事業を実施します。

事業の種類としてはジェトロの支援期間が二年もしくは三年のLL事業と支援期間が一年の

みのミニLL事業の二種類があります。

今回、安曇川町が採択された事業は一年間のミニLL事業であり、ミッション派遣と有識者招聘の二つの事業です。本事業の経費の支出はすべてジェトロ大阪本部が行い、商工会に補助金が流れる事業ではありませんが、主役はあくまで安曇川町とベリーフルーツエキスポートニュージーランドであり、ジェトロはサポートすることとなります。

商工会等振興調査事業

安曇川町活性化基本計画策定のための調査・研究事業

平成十八年度には「道の駅あどがわ」が国道一六一号線のバイパス沿いにオープン予定です。道の駅予定地は安曇川町の歴史・文化ゾーンになっており、近くには中江藤樹記念館、藤樹書院、藤樹神社や県立安曇川文化芸術会館があります。

「道の駅あどがわ」とJR安曇川駅の間を中心とする地域の活性化、商業の活性化のための具体的な事業計画、行動計画を策定する調査・研究事業を実施することにより、地域小規模事業者等の活性化及び地域の振興発展に寄与することを目的に実施します。

尚、本事業を実施することにより安曇川町の活性化の具体的な行動計画が明確になり、実施すべき事業等が明らかになります。

よって、地域の商工業の活性化、地域全体の活性化が図れるものと考えます。

図書館から安曇川駅方面を見る

業種別振興事業

商業振興事業

商業部会長 伊藤嘉壽男

中小零細小売事業にとつてたいへん厳しい現状のなか商業部会では、個店の繁栄と安曇川町商業の発展を求めて、次の事業を行つていきたいと思ひます。

会員の皆様には進んで自主参加を頂き、この事業を通じて情報や知識を得て頂き、仲間づくりと共に経営の向上、個店の繁栄のために活用して頂きますようお願い致します。

【事業項目】

- ・ 経営研修会 経営者の研修として「あどかちゃん道場」を毎月一日に開催
- ・ 地域商店街振興対策事業 中元 歳末大売出しの実施
- ・ 商店街経営研修 部会員の先進地視察研修
- ・ 他団体事業との協賛事業

工業振興事業

工業部会長 馬場正則

マスクを通じ景気回復の兆しがあると報じられているが、町内企業では依然厳しい状況で推移している。

二つした中、流通構造はますます変化をきたし、製造業の空洞化に歯止めがきかない大変厳しい状況下にあり、一層の合理化、効率化と物づくりの発想やメーカー的思考が求められています。このよ

【事業項目】

- ・ 研修会開催事業 経営革新研修会
- ・ 視察研修会 新技術、情報収集のための視察研修
- ・ 対外産地対策事業 京都扇子業者との懇談会
- ・ 交流会 高島郡内商工業部会との交流会
- ・ 夏まつり協賛事業 模擬店の出店等
- ・ たかしまIT研究会
- ・ 繊維懇談会 高島産地を取巻く

く諸問題について懇談会開催

建設振興事業

建設部会長 中江重一

近年、公共事業、民間事業の低迷により業界全体に渡り受注環境は非常に厳しい状況下を推移し、本年度も依然として好転の兆しが見えませんが、

二つした中、本年度は広域合併が予想され、業界にとっては受注環境、各地域の経営環境の変化が予想されます。我々にとってはより強固な経営基盤を確立するこ

【事業項目】

- ・ 行政との懇談会（一回） 建築・建設業に関する懇談会
- ・ 視察研修会 建設業の経営に関する視察研修会
- ・ 奉仕作業 地域振興の一環として町内への奉仕作業
- ・ 建設業者イメージアップ事業 業者紹介、情報提供事業

技能検定受講助成 各種技能検定受講に対する助成

夏まつり協賛事業 模擬店として協力

サービス振興事業

サービス部会長 梅村勝久

町村合併、道の駅開設など大きな環境変化の時期を控え、部会員および従業員の資質向上、外部からの情報収集の強化、地域および個々の部会員のPR推進を目的に、以下の事業を推進してまいります。平成十三年度から取り組んでまいりました部会活性化策をさらに押し進め、既存サービスの底上げと新たなビジネスチャンスの獲得につながるよう努めてまいりますので、各位のご協力をお願い致します。

【事業項目】

- ・ 講演会開催事業（一回） サービス業活性化のための講演会
- ・ 情報交換会開催事業（二回） 部会員相互の情報交換と専門家による講義・相談

研修会開催事業（一回） サービス業に共通する実務研修会または講習会

視察研修事業（一回） 先進事例の見聞と部会員の相互親睦

PR促進事業 ホームページ等を活用したPR促進事業

新会員さんご紹介

【住所・業種・所属部会】

- スナックくらゐる
- （末広・飲食業・サービス）
（有創）生
- （西万木・建設業・建設）
西澤 正
- （南古賀・運送業・サービス）
TOY'S CAFE（トイズカフェ）
- （中央・喫茶・サービス）
Lounge Pure（ラウンジ・ピュア）
- （中央・飲食業・サービス）
平和堂 リフォームフティック
（平和堂内・お直し・サービス）
美和工業（株）
- （西万木・造園土木・建設）
キッチン桜
- （末広・飲食業・サービス）
Cafe 花・花
- （田中・飲食業・サービス）

【平成十六年六月入会まで】

シフトロ「Local to Local」産業交流事業

ニユージーランドと アドベリーで交流

今年度 安曇川町商工会ではアドベリーを核としたニユージーランド(NZ)との産業交流事業として、シフトロ「Local to Local」事業に採択されました。この事業はNZへのミッション派遣とNZからの有識者招聘事業の二つの事業を実施します。

NZへのミッション派遣事業として、去る六月二十五日、三十日の四泊六日で福井町長、梅村アドベリー会長を始め五名がNZを訪問致しました。

今回の訪問の目的は、ベリーフ ルツ・エキスポート(BE)とアドベリー生産協議会とのボイセンベリー苗五十本の無償提供に対する覚書の締結、ボイセンベリーの栽培方法について、NZでのボイセンベリーの流通・加工についてでした。

NZは農業国であり、苗を国外

講演 二

に出すことは大変難しい国です。

任意のアドベリー生産組合に対して覚書の締結をしてくれるのか心配したところでありますが、法人、任意組織関係なく、人と人の信頼を大事にする国であると感じました。

栽培方法について、二つの農園を視察させて頂きました。小さな苗を植えたところがあり、収穫時

期を聞いたところ、一年間、地面にはわけておき、そのあとタイプツプを、一年半後の収穫となります。しかも収穫は五〇％〜七五％程度という事です。昨年十一月に安曇川町で植えた苗は今年に収穫できないのは当たり前であり、翌年も五〇％〜七五％程度の収穫と考えられます。収穫は通常で一株に八キログラムです。

ボイセンベリーワインは一五トンの冷凍果実で二万本生産、濃縮果汁はBEがエンザフーズニユー

ジーランドと委託契約をして加工します。ボイセンベリーの加工食品は他にもたくさん販売されています。高級果実であるため少し混ぜる程度の食品もありました。

有識者招聘事業では七月四日、六日にかけてNZでボイセンベリーを一番大規模に栽培しており、日本への苗の提供をして頂きました。ハターズビーさんに来て頂き、安曇川の栽培農家で指導をして頂き、その後三講演会で講演をして頂きました。また、安曇川町のアドベリーを使った商品を加工し

ている店舗を視察して頂きました。最終日の六日は神戸市で隔離栽培するボイセンベリーの苗五〇株を植えて頂くとともに、今後の苗の育成方法について指導して頂きました。

第一回有識者招聘事業は九月四日(土)にBEのジェネラルマネージャーに安曇川町にきて頂き、ボイセンベリーの加工・流通等についてシンポジウムを開催する予定です。あらためて皆様にご案内申し上げます。

農家で栽培の指導

職員移動のご案内
七月一日付けをもって職員移動がありました。

- 太田嘉樹 経営指導員
 - 朽木村商工会へ移動
 - 中川洋和 記帳専任職員
 - 経営指導員として新旭町 商工会へ移動
 - 吉田達也 経営指導員
 - 朽木村商工会から安曇川町へ 青谷隆一 記帳専任職員
- (新規採用)

この度、七月一日より新しく安曇川町商工会にお世話になることになりました青谷と申します。分らないことばかりで会員の皆様にはご迷惑をおかけすることと思いますが、一日も早く仕事に慣れてお役に立ちたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻よろしくお願ひします。